

質問

／その1

和牛の振興で特色ある まちづくり



松本利秋議員

出品牛を全町挙げて応援

松本 五年に一度開催される和牛のオリンピック、全国和牛能力共進会が十月本県で開催されます。

本町から西村槐さんと遠藤真由美さんの牛が県代表牛として出品。おめでたいことであります。

町を挙げて出品牛を応援すると共に応援バス運行は。また、将来を担う子どもを連れて行く考えはないか。

町長 一般応援のバスは出さないが、公共交通機関を利用し、一人でも多くの町民の皆さまに会場に足を運んで頂きたいと思っています。

子どもは、保護者の方でお願いします。

和牛の良さを見直し

農業振興を

松本 本町では、現在三十戸の農家で和牛を百十頭ほど飼育され、小規模ながら水稲に次ぐ産業として歴史と伝統があります。

和牛の導入は、雇用の拡大、農地の荒廃防止、堆肥の生産など、農業振興に有望。和牛農家への支援策で、町有牛預託事業や巡回指導

(妊娠鑑定等飼育)、また、

久住放牧場の継続はどのようになっていますか。

町長 耕種と和牛飼育を組み合わせた農業形態の確立を図りたいところではあります。農林業すべてにおいて後継者の育成が図られない現状であり、将来に向けて不安を感じています。

現在、畜産指導体制は整っていると思います。また、和牛の飼育にどれだけ支援できるか、お金のこともあるので調査し、できるだけのはやってみたいと思っています。

日野和牛のブランド化で
特色あるまちづくり

松本 かつて日野和牛は全国に名声を博しています。

本町は、いち早く家畜改良事業団の精液を導入するなど、時代のニーズに合ったように改良飼育されており、他町より高値で取引されています。

安全、安心な食肉の生産。将来を見据えて改良飼育を重ね、日野和牛としての更なるブランド化を図り、特色あるまちづくりはできないか。

町長 後継者不足や高齢化する畜産の現状の中で、

応援者に激励され審査会場へ



どのように維持していくかを真剣に考えなければならなと思っています。

松本 共進会を契機に、金をかけないで和牛サミットを開催し、一層の和牛振興と町の元気付け、そして日野牛を全国発信したらと提案します。また、牛、米、観光を一体的にした取り組みはできないか。

町長 具体的な提案。共進会が終わった段階で、松本和牛部会長さんに相談させていただきます。提案は参考にさせていただきます。

議会の動き

8月

1日 議会広報調査特別委員会

27日 日野病院組合議会定例会

28日 議会運営委員会

29日 日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会

9月

5日 西部町村議会議員研修会

7日 議会運営委員会

10日 例月出納検査

12日 第五回町議会定例会

13日 決算審査特別委員会

13日 総務経済常任委員会

13日 教育民生常任委員会

13日 決算審査特別委員会

14日 第五回町議会定例会

19日 決算審査特別委員会

20日 教育民生常任委員会

26日 決算審査特別委員会

26日 議会全員協議会

26日 病院事業調査特別委員会

26日 議会全員協議会

26日 病院事業調査特別委員会

26日 議会全員協議会

26日 病院事業調査特別委員会